



平成29年7月九州北部豪雨災害調査 土木学会・応用生態工学会合同報告会を開催

概要

平成30年5月26日(土)に九州大学筑紫キャンパス筑紫ホール(総合研究棟C-Cube内)にて、「平成29年7月九州北部豪雨災害調査 土木学会・応用生態工学会合同報告会」を下記の通り開催します。両学会の団長を本学島谷教授が務めるとともに、多くの本学教員が調査報告を行います。

また、今次災害に対して、本学では、「九州大学平成29年7月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団」を結成し、全学体制で支援にあたっています。

平成29年7月九州北部豪雨災害調査 土木学会・応用生態工学会合同報告会

- 主催：土木学会水工学委員会平成29年7月九州北部豪雨災害調査団
応用生態工学会九州北部豪雨災害調査団
九州大学工学部附属アジア防災研究センター
九州大学平成29年7月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団
- 日時：平成30年5月26日(土) 10:00～17:00
- 場所：九州大学筑紫キャンパス筑紫ホール(総合研究棟C-Cube内)
http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/ja/aboutus/campas_map.php
※筑紫ホール内は飲食禁止です。
- プログラム：別紙の通り

【お問い合わせ】

工学研究院環境社会部門
准教授 田井 明
電話：092-802-3439
Mail: tai@civil.kyushu-u.ac.jp



河川
基金



土木学会 CPD 認定報告会
JSCE18-0433 (6.0 単位)

平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査 土木学会・応用生態工学会合同報告会

主催：土木学会水工学員会平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査団
応用生態工学会九州北部豪雨災害調査団
九州大学工学部附属アジア防災研究センター
九州大学平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団

日時：平成 30 年 5 月 26 日 10:00～17:00

場所：九州大学筑紫キャンパス筑紫ホール（総合研究棟 C-Cube 内）

http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/ja/aboutus/campas_map.php

プログラム

10:00 開会のあいさつ

土木学会調査団長・応用生態工学会調査団長 九州大学 島谷幸宏

10:05 来賓ご挨拶 九州地方整備局・福岡県

10:15～12:00 水工調査団からの報告 1：（司会・九州大学 矢野真一郎）

1. 平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害の概要－得られた教訓を考える視点－

（九州大学 矢野真一郎）

2. 豪雨をもたらした線状降水帯の特徴（九州大学 西山浩司）

3. 崩壊斜面の形状分析と深層風化斜面の物理特性－地盤工学会より－

（東京工業大学 笠間清伸）

4. 各河川での特徴的な事象

1) 赤谷川の河川災害について（九州大学 島谷幸宏）

2) 花月川の河川災害について（熊本大学 大本照憲）

13:00～14:00 水工調査団からの報告 2：（司会・九州大学 矢野真一郎）

- 3) 本災害の特徴と大肥川の河川災害 (九州大学 小松利光)
- 4) 白木谷川流域において発生した流木・土砂氾濫災害について
(西日本技術開発 (株) 福岡尚樹)
- 5) 人的被害の特徴と桂川・寒水川の河川災害について (九州大学 田井明)

14:00~15:00 応用生態調査団の報告 1 : (司会 熊本大学 皆川朋子)

1. 集落会議とそこから得られた地域知と将来のビジョン (九州大学 林博徳)
2. 災害後の河道変化および水質について (白木谷川、妙見川、宝珠山川)
(九州大学 佐藤辰郎)
3. 土石流が発生した溪流の河道内環境特性と底生動物の初期的状況
(熊本大学 一柳英隆)

5分休憩

15:05~16:05 応用生態調査団の報告 2 : (司会 熊本大学 皆川朋子)

4. 災害後の魚類の生息状況と復元目標 (九州大学 鹿野雄一)
5. 土砂崩壊地の植生被害等の特徴について (応用地質 沖津二郎)
6. 山地災害の低減のあり方と課題 (熊本大学 皆川朋子)

16:10~16:20 調査団からの提言

16:20~16:55 総合討論

16:55 閉会のあいさつ

問い合わせ先

九州大学 田井明 tai@civil.kyushu-u.ac.jp, 092-802-3439

- * 筑紫ホール内は飲食禁止です。
- * 当日、筑紫キャンパスの食堂は利用可能ですが、利用者が多い場合は、時間を要することが予想されます。予めご了承ください。